

冬期における豊富バイパスの効果について

4. 物資の安定供給を確保

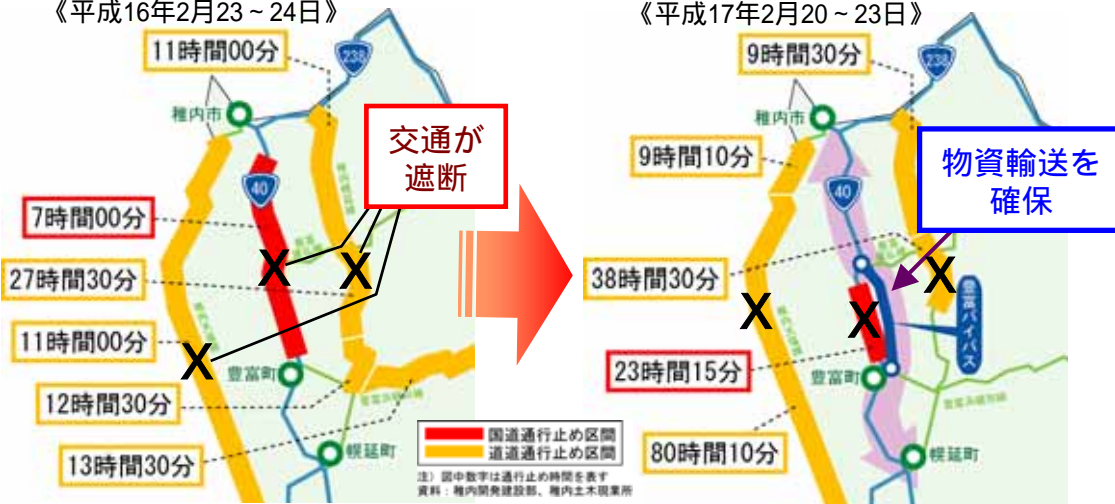
平成16年2月の通行止めの際は、稚内市～札幌市間や稚内市～旭川市間のトラック定期便がストップし、物資輸送に多くの影響が発生しました。

しかし、平成17年2月には、国道40号の通行止め時間が前年の3倍以上であったにもかかわらず、豊富バイパスにより通行が確保され物資の安定供給に寄与しました。

平成16年2月と平成17年2月の通行止め状況

《平成16年2月23～24日》

《平成17年2月20～23日》



稚内市の事業所における通行止め時の状況

事業所	平成16年2月23日の状況	平成17年2月22日の状況
宗谷トラック(株)	稚内～旭川間及び稚内～札幌間のトラック便が全便運休。	稚内～札幌間のトラック便は旭川を経由したため約2時間の遅れが発生したが、全便運行した。
西條百貨店 稚内店	到着予定だったトラック2便のうち、1便が到着せず。	商品入荷で若干の遅れがあったのみで、影響はほとんどなし。
稚内地方卸売市場	トラック便運休のため、旭川からの青果の入荷がストップ。	通常通りの入荷となった。
太平洋石油輸送(株)	稚内市街地を除く管内各地のガソリンスタンドへの配送車が運休。	豊富バイパスを利用したため、配送車の運行に影響はなかった。
井戸川商会 (道新販売店)	旭川工場から留萌市経由で輸送したため朝刊到着に約1時間の遅れ。	朝刊の到着は通常通りであった。

宗谷トラック(株)のコメント
「今年2月の降雪と吹雪による通行止め時には、豊富バイパスは自動車の運行を支えてくれました。まさに冬に強い道路が立証されたと思います。北海道では、豊富バイパスのように本当に冬に強い道路の整備が必要であると実感しました。」

稚内市内道新販売店のコメント
「**新聞は新鮮さが大変重要な商品**です。昨年2月の国道40号通行止め時には、旭川工場から確実に稚内市まで新聞を届けるために、国道40号を北上する通常ルートと留萌市経由ルートの2便が出発し、留萌市経由便のみが稚内市に到着しました。今年2月の通行止め時には、**豊富バイパスが通行できたため、通常通りに新聞が稚内に届けられました。**」

豊富牛乳公社(株)のコメント
「稚内市のコンビニの物流センターに毎日牛乳を出荷しています。国道40号が通行止めの時には、**豊富バイパス経由で輸送することができたため、欠品の発生を回避できました。**」